

城崎そぞろ歩きニュース

2019年6月

～安心・安全にそぞろ歩きができるまちづくり～

発行：城崎温泉交通環境改善協議会 会長：西村総一郎、検討部会長：富田健太郎

事務局・お問い合わせ先：豊岡市都市整備部建設課（安居、山崎）Tel. 0796-21-9007

桃島バイパス 県の社会基盤整備プログラムに記載される！

～温泉街での交通環境改善への取組が必須条件～

城崎温泉では、かねてより安心・安全なそぞろ歩きをめざし温泉街の交通環境の改善のための諸検討に取り組んできました。その中で大きな比重を占める事項に「桃島バイパスの整備」があげられていましたが、この度改定された社会基盤整備プログラムに桃島バイパスが初めて記載されたました。

同プログラムでは、10年間の計画期間のうち後期の2024～2028年に桃島バイパスの着手が位置づけられています。また、裏面の説明資料のとおり、城崎温泉街での「地域の皆さんの主体的な交通環境改善への取組み」がますます必要となってきます。

城崎温泉交通環境改善協議会会長 西村 総一郎

「そぞろ歩き」を楽しめるまちの実現を目指して多くの皆様にご協力をいただきました。努力の結果、抜本的な解決方法として掲げていた桃島バイパスが、兵庫県が10年間で取り組む事業として今年3月に掲載されました。

復興後、城崎温泉が現在のまちの姿となった北但大震災から2025年で100年となります。次の100年のために今後共ご協力を宜しくお願い申し上げます。

城崎温泉交通環境改善協議会アドバイザー

元京都大学特定教授 土井 勉

我が国は既に人口減少社会に突入しています。でも人口減少を嘆くよりも、世界から多くの人々を呼び込むまちづくりを行うことで、まちの活力を維持することが可能となります。

城崎温泉では、地域全体を一つの大きな旅館に見立てて、まちの魅力を世界に発信されています。その効果があり、多くの人々が訪れる地域となっています。

ただ、この温泉の「廊下」である道路をのんびり散策しようとしても、自動車との接触の危険や駐車車両があることで車道側を歩かざるを得ないなど、困った状況が目立ちます。

そこでこの問題を解決するために、城崎交通環境改善検討協議会の皆さんを中心に旅館・商業者などの方々だけでなく、お住まいをされている方々にとっても安全で魅力ある道路を実現するための取組が進められています。さらに皆さんが力を合わせて魅力ある城崎を創っていかれることを期待しています。

- ＊ 但馬地域社会基盤整備プログラムとは、計画的かつ効率的に社会基盤整備を進め、「あしたのふるさと但馬」の実現を目指すとともに緊急かつ重要な事業を盛り込み、前プログラム（平成26～35年度）を見直したものです。
- ＊ 近々、温泉街の事業者の皆様を対象にアンケート調査を実施します。また、町民の方につきましては今後ご意向を伺うことがありますので、その折にはよろしくご協力ください。

豊岡竹野線「桃島バイパス」



「桃島バイパス」+「交通環境改善」で
「城崎温泉」の更なる発展

1 「但馬の地域創生」を牽引する城崎温泉



〈外国人観光客の声〉



満足

- ・城崎は「おもてなし」が素晴らしい。
- ・京都は作られすぎているが、城崎温泉は「隠れ家」です。
- ・買い物も散策も楽しめました。
- ・素敵な写真がたくさん撮れました。
- ・友達には、来ると良いと伝えています。

出典：豊岡市大交流課による外国人観光客インタビュー

2 「SOZORO歩き」の実現



〈そぞろ歩きに関する声〉



満足

- ・温泉街の街歩きは楽しい。
- ・団体での「そぞろ歩き」も多く見かけました。
- ・歩くことで、お店の売り上げにも貢献できると思います。

〈地域の取組〉

- 平成28年度～「交通環境改善協議会」：14回 (部会含む)
- 平成28年度 「交通改善ワークショップ」：3回
- 平成29年度 社会実験(路肩を拡大)



不満

- ・車が通行するため危険で、開放感が半減。
- ・ゆかたの「そぞろ歩き」に、自動車やバスなどの乗り物は似合わない。

出典：豊岡市大交流課による観光客インタビュー

3 周辺整備との相乗効果発現

